

和 気 品 合 魄 位

高島市立マキノ中学校



学校だより

文責：校長 清水

～ 人 と の つ な が り の 中 で 成 長 を ～

12月22日(金)の夕方に、ある方から学校にお電話をいただきました。その内容は、「神社付近で、倒れられているお年寄りの方に、中学生が寄り添っていた。」という内容でした。とても心温まるエピソードで、嬉しく思いました。また、困られている方の気持ちを察して行動すること、思いやりの心をもって実践していくことの尊さ、品位というものを教えられました。

さて、先月、人間関係についての学びを深めるために、本校担当の田中スクールカウンセラー(SC)に、授業をしてもらいました。

1年生には「コミュニケーション」を、2年生には「不安との付き合い方」をテーマに講義してもらいました。



印象に残った言葉として、

- ・相手も私も同じ価値、同じ大事な存在。その価値は「何かができる、できない」に、関係がない。
- ・一人の人間がすべてできるのは不可能。だから、一人ひとりの強みを、それぞれの持ち場で発揮することが大切。それで、社会もうまく回っていく。
- ・コミュニケーションで一番大事なのは、互いに理解し合おうと心がけることだ。
- ・自分のできること、好きなことを知って、実際に体験してみよう。
- ・不安がるのは当たり前。それと付き合いな

がら、できる方法を試したりできることをやったりしてみよう。また、助けを求めても大丈夫。試してみよう。

という言葉です。

ところで、先日、ある新聞記事を読んで、「人とつながることで、辛い思いをすることもあるが、様々な価値観にふれ、自分の考えを広げたり支えになったりする。」と教えられました。生徒たちは、これから先、自分の可能性を伸ばすためには、人との出あい大切だと思います。いろいろな方と出あい、会話することで、自分の可能性を広げてほしいと願っています。また、例えば、本を読むことを通して、筆者とふれあうということも該当すると思います。本を読み、学んでほしいと願っています

人とのつながりの中で、葛藤することもあります。しかし、人とのよりよいつながりの中で、人は学び成長していきます。ある生徒が、「周りの意見や固定観念に縛られたり人と比べたりするのではなく、自分がよいという道を進めばよい」という意味のことを述べていました。これは、人や本等の情報とのかかわりに中から生まれた言葉だと捉えています。

2024年が始まりました。今後も「思いやり」と「粘り強さ」「笑顔」をキーワードにして、人とのつながりの中で、「品位」「気魄」「和合」を高めていく教育活動を展開していきたいと考えています。

1、2学期「学校振り返りアンケート」の結果より

生徒振り返りアンケートより				保護者振り返りアンケートより			
	7月	12月		7月	12月		
1 毎日が安心して過ごせ、 学校へ行くのが楽しい。・・・	92%	88%	▼	1 子どもは嫌がらずに 学校へ行っている。・・・	85%	82%	▼
2 授業での学習内容は よくわかった。・・・	95%	94%	▼	2 子どもは家庭学習を 毎日60分以上行っている。・・・	47%	47%	-
3 やる気をもって授業の 課題に取り組んでいる。・・・	83%	85%	△	3 部活動は充実している。・・・	78%	84%	△
4 家庭学習は毎日60分以上 行った。・・・	43%	55%	△	4 教職員は質問や相談したときに 適切に対応している。・・・	100%	95%	▼
5 部活動に満足している。・・・	86%	86%	-	(質問や相談をしたと回答した方が対象)			
6 先生はよく関わってくれる。・・・	97%	97%	-	5 子どもは家庭で 時間を守っている。・・・	64%	47%	▼
7 登下校の時刻やベル着など 時間を守っている。・・・	92%	97%	△	6 子どもは夜11時までには 寝ている。・・・	59%	56%	▼
8 委員会や班の活動に 頑張っ取組めた。・・・	97%	98%	△	7 子どもは家庭で 手伝いをしている。・・・	53%	53%	-
9 道徳の勉強はためになる。・・・	98%	93%	▼	8 子どもは家庭や地域で 挨拶をしている。・・・	92%	89%	▼
10 交流活動で「ありがとう」等 感謝の言葉を伝えられた。・・・	91%	94%	△	9 学校便りやメール、ホームページ等の通信で 学校の情報は得られる。・・・	87%	93%	△
11 近所の人に会ったときは 挨拶をしている。・・・	96%	97%	△				

※上の数値は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した合計です。

上記の結果より、生徒たちは、係活動や委員会活動等での役割をしっかりと果たし、学校の規律も守っています。上記には掲載していませんが、朝読書ができていると回答している生徒が約95%います。また、タブレット端末を使って調べたり、他の人の意見を聞いたり、自分の考えを发表或し書いたりしていると回答している生徒も約90%以上います。これらのことから、多くの生徒は、朝から静かな環境の中で学校生活がスタートし、落ちついた学校生活を送っていると捉えています。今年度、本校が力点においている「ありがとう」を伝え合う学校に向かっていくと思います。しかし、考えを交流する授業や活動には力を入れる必要があると感じています。今後も引き続き、各教科で学習課題等を工夫し、生徒たちがともに問題を出し合ったり意見を交流したりした主体的に学ぶ授業や自発的に家庭学習につながる学習課題、ともに高め合い夢中になれる教育活動を展開していきたいと考えています。また、今年度実施しました地域との交流を大事にした地域貢献活動、園・小・中のつながりを大事にしたマキノ中祭のような活動を、今後も工夫し展開していきたいと考えています。

子どもの成長を願うのは、学校も保護者の方も地域の方も同じです。子どもが自らの力で歩み成長していくため、学校と保護者、地域とスクラムを組んで邁進していきたいと考えています。今後ともよろしく願います。

新 学 期 に 向 け て

【1年】

- 時計を見て、チャイムが鳴る1、2分前に座るベル着、ベル始をしっかりとやっていきたい。
- 授業の前の挨拶を大きな声でやっていきたい。
- 4月には2年生。それまでに、後輩の手本、頼られる先輩に成長しているようにしたい。

【2年】

- 3年生のよいところの、1つ1つの行動を見て、これを参考に全校を引っ張っていきたい。
- 学力確認テストが入ってくる。受験用テキスト(新研究)で効率よく復習していきたい。
- 家での勉強の時間をとるため、家に帰ってきてからの行動を早くしていきたい。

【3年】

- もうすぐ受検。先生や友達に教えてもらって勉強に力を入れたい。
- 2、3月に控える受検のため、体調管理をしっかりとしていきたい。
- 3月には卒業式。マキノ中学校での生活も最後。今の時間を大切に、楽しみたい。